

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S16	施策名	ペーパーレス化の拡大
担当部課	市長公室情報課	関係部課	議事課・行政課・財政課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	4 ICTの活用
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	無
施策開始の背景、経緯等		合理的・効率的な行政運営の推進

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 合理的・効率的な行政の運営を推進していく中、なるべく会議で使用される紙の量を少なくしていく取り組みである。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 職員等が紙媒体を使用する業務
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 決裁の簡素化やペーパーレス会議を導入し、ペーパーレス化を推進することによって、コストの削減、業務効率の向上、セキュリティ対策強化を行う。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	ペーパーレス会議の拡充				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)	紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)	紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)	紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)	紙コストの削減のためペーパーレス会議を拡充(連絡会議・財産評価審査会・指名審査会等)
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		ペーパーレス会議システム 102千円 保守業務	会議システム 102千円 保守業務	会議システム 102千円 保守業務	会議システム 102千円 保守業務	会議システム 102千円 保守業務
		開催会議数・実績	開催会議数・見込み	開催会議数・見込み	開催会議数・見込み	開催会議数・見込み
		(延べ) 125 会議	(延べ) 130 会議	(延べ) 135 会議	(延べ) 140 会議	(延べ) 145 会議
		紙削減枚数・実績	紙削減枚数・見込み	紙削減枚数・見込み	紙削減枚数・見込み	紙削減枚数・見込み
		(延べ) 44,003 枚	(延べ) 45,000 枚	(延べ) 47,000 枚	(延べ) 49,000 枚	(延べ) 51,000 枚

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	議会のペーパーレス化の実施				
		R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		ICT化の方針決定議案等のペーパーレス化の実施(議員)	議案等のペーパーレス化の実施(議員)	議案等のペーパーレス化の実施(議員及び傍聴者)	議案等のペーパーレス化の実施(議員及び傍聴者)	議案等のペーパーレス化の実施(議員及び傍聴者)
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		会議システム使用料 163千円	会議システム使用料 492千円	会議システム使用料 492千円	会議システム使用料 492千円	会議システム使用料 492千円
		紙削減枚数	紙削減枚数	紙削減枚数	紙削減枚数	紙削減枚数
		①のうち 8,960枚	①のうち 11,000枚	①のうち 13,000枚	①のうち 15,000枚	①のうち 17,000枚
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回	(延べ) 0 回

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) DX推進計画を策定し、主要取組事項として「ペーパーレスの推進」を位置づけ個別の方策を進めていくこととした。コロナウイルス対策で他団体もWeb会議を導入しており、今後もWeb会議化の浸透に伴いペーパーレス化による紙コストの削減についても増加が期待できる。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 認証機器の更新に伴い、全職員端末を無線LANでLGWANIに接続できるようにした。また、コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し電子黒板を5台会議室に導入した。これにより気軽にどの職員でもペーパーレス会議を行うことができるようになった。
------	--------	--

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 無線LANの導入と電子黒板により、ペーパーレス会議が普及し始めた。ウェブ会議については運用時にトラブルも多く、リテラシーの向上が必要。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) ペーパーレス会議システムでは、紙を減少させることによる資料代、資料の印刷、準備、廃棄にかかる人件費を削減することができる。また、Web会議システムは年間57千円の有料アカウントを利用することによって、会議が有効的に開催できるため、費用対効果は高いといえる。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) Zoom等のWeb会議システムを使用することによって、職員の業務効率化やペーパーレス化を推進していく。
----	------------	---

内部意見	総計画担当、財政担当、行政改革担当	・引き続き、印刷コストや紙資源使用の削減が図られるよう取り組んでください。
------	-------------------	---------------------------------------

内部意見への回答		
----------	--	--